

事業番号	05 06 18	事業改善シート（28年度実施事業分）			<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	エイズ・性感染症対策事業				担当課	部局	健康福祉部	
総合5か年計画	プロジェクト					課・局・室	保健・疾病対策課	
	施策の総合的展開	6－1 健康で長生きできる地域づくり				E-mail	hoken-shippei@pref.nagano.jp	
		5 疾病対策の推進						
					実施期間	S41	～	
人口定着・確かな暮らし実現総合戦略	信州創生の基本方針							
	施策展開							

1 事業の概要

目指す姿	・エイズ・性感染症に関する正しい知識の普及啓発を図り、感染拡大を防ぐ。 ・HIV・性感染症の早期発見の重要性について普及啓発を行い、より多くの県民に検査の受検を促す。 ・エイズに関する誤解・偏見のない社会を目指す。 ・一般の医療機関におけるHIV感染者・エイズ患者に対する医療提供体制の基盤づくりを図る。											
現状 （予算編成時）	・長野県は、エイズ患者・HIV感染者の数が多く、累計では全国第11位となっている。 ・近年は、診断時にエイズを発症している割合が高い傾向にあり、全国平均約3割に対し、4割を超えている。 ・HIV・性感染症の早期発見の重要性について普及啓発を行い、より多くの県民に検査の受検を促す必要がある。 ・一般医療機関においてもHIVの早期発見を意識した診療が求められているが、一般医療従事者の間でも、エイズに関する誤解偏見が今なお見受けられ、受け入れ拒否などの事例も見受けられる。											
県が関与する理由	県でなければ実施不可（法令等義務）		【左記の説明、根拠法令等】 感染症法、エイズ予防指針、性感染症に関する特定感染症予防指針									
	県民との協働による実施：実施は困難											
成果目標・事業内容	① 成果目標（H28） 本県では、HIV感染者/エイズ患者の人口当たりの届出数が全国的にも多い状況であるため、 ・エイズ・性感染症に関する正しい知識の普及啓発を実施 ・保健所における匿名・無料による相談受付、迅速検査の実施 ・エイズ治療拠点病院におけるHIV無料迅速検査の実施 ・医療従事者感染症対策研修会の開催 により正しい知識の普及と早期発見を目指す。											
	② 事業内容 （単位：千円）											
	項目	実施方法	H28事業実績		H28		H28		H29			
					（当初）	（決算）			（当初）			
	HIV検査（保健所・拠点病院）	直接	・保健所におけるエイズ相談検査（随時） ・拠点病院のHIV無料検査は、県が購入した試薬を提供		3,272	2,338			3,325			
	正しい知識の普及啓発	直接	・重点啓発週間（6/1-7エイズ予防ウィーク、11/25-12/1世界エイズデー普及啓発週間）全保健所で県下一斉の街頭啓発の実施等 ・出前講座の実施（学校他各種団体）		1,692	434			1,442			
	カウンセラー養成	直接	・保健所相談に携わる保健師を専門研修に派遣（2人）		105	81			105			
	性感染症検査（保健所）	直接委託	・保健所における梅毒検査（直接実施） ・保健所におけるクラミジア検査（検査委託）		1,761	1,548			2,080			
	医療従事者等感染症対策研修	直接	・医療従事者を対象に、最新のHIV診療、HIVの早期発見の知識に関する研修会を開催（1回）		126	107			126			
	HIV診療実態調査	委託	・県内医療機関を対象に、HIV・エイズ診療の実態及び患者の実態調査を実施（長野県医師会へ委託）		874	874			874			
国庫返還金	直接	H27事業確定に伴う返還金			842							
			合計		7,830	6,224			7,952			
事業コスト	区分（単位：千円）		27年度	28年度	29年度	成果目標の達成状況						
	予算額	前年度繰越				項目	H26末	H27末	H28		H29 目標	
		当初予算	8,023	7,830	7,952				目標	成果		達成状況
		補正予算	179	842		重点啓発週間	年2回	年2回	年2回	年2回	達成	年2回
		合計（A）	8,202	8,672	7,952							
	Aの財源	一般財源	4,197	4,763	3,983	医療従事者等感染症対策研修会参加者数	80	104	80	131	達成	80
		県債										
		国庫支出金	4,005	3,909	3,969							
		その他	0	0	0							
	決算額（B）		5,383	6,224								
	概算人件費	職員数（人）	11.50	11.50	11.50							
		概算人件費（C）	95,174	91,011	91,011							
	概算事業費（B（A）+C）		100,557	99,683	98,963							
目標に対する成果の状況	・6月に「エイズ予防ウィーク in Nagano」と銘打って重点啓発週間を設定するとともに、12月には「世界エイズデー」に合わせて重点啓発活動を実施した。 ・医療従事者等感染症対策研修会については、10月に松本市で開催し、薬害エイズ及び感染症危機管理体制について講演を行うとともに、県内のHIV感染の状況について研修した。 重点啓発や研修会の開催により正しい知識の普及と早期発見の重要性を啓発。また、HIV検査の利便性の向上と受検機会の拡大ができた。											

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施
	・出前講座や重点啓発活動を引き続き実施し、正しい知識の普及とHIV検査及び性感染症検査件数の増加に努め、早期発見・早期治療及び感染防止につなげたい。